

●大友 良英氏の札幌国際芸術祭 2017 ゲストディレクター就任について

2017年夏開幕予定の札幌国際芸術祭 2017(Sapporo International Art Festival 2017、略称：SIAF2017)のゲストディレクターに、音楽家の大友 良英氏が就任することが決定しました。大友氏は、ギタリストやターンテーブル奏者として活躍する一方、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の音楽を担当するなど、幅広い年齢層からの支持を得ています。また、昨年開催した札幌国際芸術祭 2014では、大友氏を中心に「フェスティバル FUKUSHIMA！北3条広場で盆踊り」を実施し、多くの市民が参加し、好評を博しました。

今後実行委員会では、札幌ならではの芸術祭を作り上げていくために、大友氏とともにさまざまなプロジェクトを展開していきます。

1 札幌国際芸術祭 2017 ゲストディレクターについて

(1) ゲストディレクター：大友 良英（おおとも・よしひで）

(2) 選考条件

選考に当たっては、SIAF2014の経験を踏まえ、以下3点を条件とした。

- ① 市民の関心を喚起することができる芸術文化の実践者
- ② 美術領域のみに限らず、現代社会に対して広い視野を持ち、SIAFにふさわしい方針（テーマやコンセプト）と展望を提示することができる人物
- ③ テーマやコンセプトを自らの言葉で説明し、発信できる人物

(3) 選考理由

大友氏は、ギタリストやターンテーブル奏者として活躍する一方、作曲家として映画音楽やテレビドラマの音楽なども数多く手掛けており、2013年にはNHKの連続テレビ小説「あまちゃん」の音楽も担当するなど、幅広い年齢層からの支持を得ている。

また、近年は「プロジェクト FUKUSHIMA！」など市民参加型のプロジェクトにも精力的に取り組んでおり、昨年 SIAF2014 の事業として実施した「フェスティバル FUKUSHIMA！北3条広場で盆踊り」には多くの市民が参加し、好評を博した。

さらに大友氏は、国内の主要なメディア・アートの施設で音楽と美術の両領域にまたがる作品を制作・発表し、その活動は国際的にも高く評価されており、メディア・アートを展開方針の1つとしている SIAF の方向性に合致している。

加えて昨年からは、独立行政法人国際交流基金アジアセンターが主催する「ENSEMBLES ASIA」のアーティスティックディレクターに就任し、アジア地域内外における活動も積極的に行っている。

以上から、SIAF2017 ゲストディレクターの条件に合致することに加え、参加型プロジェクトにおける優れたディレクションの手腕と、音楽の領域に留まらない幅広い芸術活動や国際的な活動実績から、大友氏を選任した。



(4) 選考過程

創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会で定めたゲストディレクターの条件を踏まえ、札幌国際芸術祭事務局が、札幌国際芸術祭部会（SIAF コミッティー）※1および札幌国際芸術祭アドバイザー※2と協議の上、候補者を選定し、同実行委員会において決定した。

※1 札幌国際芸術祭部会（SIAF コミッティー）：専門的見地から事務局に対し実務的な助言、サポートを行う

※2 札幌国際芸術祭アドバイザー：特に重要な事項について、専門的見地から事務局に対し助言、サポートを行う

<参考：札幌国際芸術祭 2014 開催概要>

(1) 開催テーマ：テーマ「都市と自然」

サブテーマ「自然」「都市」「経済・地域・ライフ」

(2) ゲストディレクター：坂本 龍一氏

(3) 開催期間：平成 25 年 7 月 19 日（土）～9 月 28 日（日）【72 日間】

(4) 主な会場：

北海道立近代美術館 / 札幌芸術の森美術館 / チ・カ・ホ/北海道庁赤れんが庁舎 /
モエレ沼公園 / 札幌市資料館 / 札幌大通り地下ギャラリー500m美術館 ほか
(全 18 会場)

(5) 参加アーティスト、作品数：64 組、214 作品

(6) 来場者数：478,252 人

問い合わせ先

観光文化局国際芸術祭担当部国際芸術祭担当課 宮岡・岡本
電話 211-2314